

# 第2学年

# 学習のてびき

令和5年度

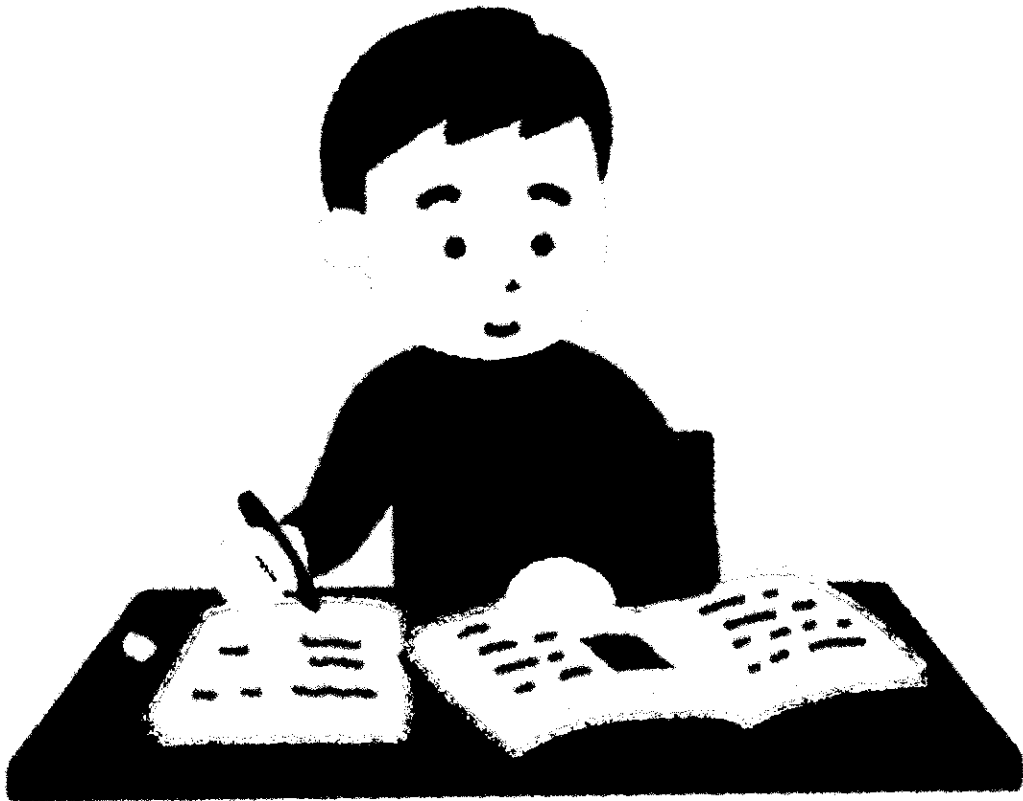
尾鷲市立尾鷲中学校

「学習のてびき」には、必修教科9教科について、次の内容が書かれています。

- ☆ 学習目標
- ☆ 授業や家庭学習への取り組みかたと学習上の注意事項
- ☆ 年間の学習内容
- ☆ 評価観点および評価方法など

生徒のみなさんは、この「学習のてびき」をよく読み、  
学習の道しるべとして、見通しを持った取り組みを行ってください。  
これまで以上に、確かな学力を身につけることができると思います。

また、保護者の方も、この「学習のてびき」をよくご覧いただき、  
どのような内容の学習が行われているかご理解ください。  
お子さまへの、学習アドバイスの参考資料として、  
ご活用いただきたいと思います。



# 第2学年 国語の手引き

## 1. 学習目標

○知識・技能 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができる。
○思考・判断・表現 社会生活における人との関わりの中で伝え合うことを通して、自分の思いや考えを広げ、深めている。
○主体的に学習に取り組む態度 言葉が持つ価値を認識し、言葉を適切に使おうとすることや粘り強く考え、問題解決の過程を振り返り、評価・改善しようとしている。

## 2 評価の観点及び評価の方法

観点	内容	評価方法
知識・技能	言葉のきまりを理解し、漢字や語句などを正しく使うことができる。文章の筋道や構成をとらえ正確に読み、内容を理解することができる。	発表、話す姿勢、聞く姿勢、聞き取りテスト、漢字テスト、定期テスト
思考・判断・表現	自分の考えをまとめて話し、相手の話をしっかり聞くことができる。 相手の話を理解し、互いの立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合うことができる。 自分の立場や伝えたい事実や事情を明確にして、文章の構成を工夫し、まとめることができる。 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むことができる。	発表、音読、話す姿勢、聞く姿勢、聞き取りテスト、漢字テスト、定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	意欲的に国語学習に参加することができる。 自分の考えをまとめ、相手の考えを聞いて、参考にしたり、考えを変えたりすることができる。	授業中の態度、発表、ワーク、提出物、小テスト

## 2 年間計画

※書写の指導に配当する授業時間は、年間20時間程度とします。(書き方の指導、ノート指導含む)

月	単元名	主な学習内容	主な学習目標
4	1、言葉を感じる	◎未来へ【読】 ◎手紙の効用【読】	・詩に描かれていることを解釈し、読み方を工夫して音読する。 ・読み取ったことを踏まえ、自分の知識や体験も交えて、考えを広げる。
5		◎短歌を楽しむ/短歌五首【読】 ◎短歌のリズムで表現しよう【書】  ○話し言葉と書き言葉【言】 ○形の似た漢字【漢】 ◎字のない葉書【読】	・短歌に詠まれた情景や心情を想像し、短歌を読み味わう。 ・短歌の表現の工夫などに注意して、鑑賞したことをまとめる。 ・自然や体験を題材に、表現を練りあげて短歌を作る。  ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 ・形の似た漢字に注意して、漢字を文や文章の中で使う。

6	2、感想を深める	<p>○人物像を捉える</p> <p>◎辞書に描かれたもの【読】</p> <p>○相手の立場を踏まえ、考えを深める</p> <p>○考えを比べながら聞こう</p> <p>○敬語【言】</p> <p>○他教科で学ぶ漢字(1)【言】</p>	<p>・登場人物の言葉や行動の意味を考えて、作品を読み味わう。</p> <p>・作品から読み取ったことをもとに、自分の考えを深める。</p> <p>・人物の言動の意味に注意して、人物像を捉える。</p> <p>・登場人物の言葉や行動の意味を考えて、作品を読み味わう。</p> <p>・作品から読み取ったことをもとに、自分の考えを深める。</p> <p>・相手の立場や考えを理解し、自分の考えを深める。</p> <p>・相手の考えとその根拠に注意して話を聞き、自分の考えと比べる。</p> <p>・敬語の働きや使い方について理解し、話や文章の中で使う。</p> <p>・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>
7	3、伝え方を工夫する	<p>○情報を図や表に整理する</p> <p>◎ハトはなぜ首を振って歩くのか【読】</p> <p>◎郷土のよさを伝えよう【書】</p> <p>○用言の活用【言】</p> <p>○漢字の意味【言】</p> <p>◎卒業ホームラン【読】</p>	<p>・複雑な情報の整理の仕方を理解し、情報を図や表に整理する。</p> <p>・まとまりどうしの関係に注意して文章の構成を捉え、内容を読み取る。</p> <p>・文章と図表を結び付けて読み、図表の役割を考える。</p> <p>・身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを絞り込む。</p> <p>・読み手を意識しながら、表現の効果などを確かめて、文章を推敲する。</p> <p>・単語の活用について理解する。</p> <p>・漢字の意味を理解して、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p>・読書の意義を知り、おすすめの本の魅力を紹介し合う。</p>
9	4、説得力を高める	<p>◎黄金の扇風機/サハラ砂漠の茶会【読】</p> <p>○論証の説得力を見極める</p> <p>○根拠を吟味して書こう【書】</p> <p>○説得力のある提案をしよう</p> <p>○助詞【言】</p> <p>○同訓異字【言】</p>	<p>・文章を読み比べて、論の進め方について考える。</p> <p>・文章の内容について、自分の知識や体験と結び付けて考えを深める。</p> <p>・論証の組み立てを捉え、説得力があるかどうかを吟味する。</p> <p>・自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠の適切さについて吟味する。</p> <p>・文章の構成を工夫し、分かりやすく説得力のある意見文を書く。</p> <p>・聞き手に納得してもらうために、説得力のある話の構成を考える。</p> <p>・資料や機器を活用して、分かりやすく印象的に話す。</p> <p>・助詞の働きについて理解する。</p> <p>・同訓異字について理解し、話や文章の中で適切に使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p>
10	5、伝統文化を味わう	<p>○落葉松</p> <p>◎枕草子・徒然草</p> <p>◎平家物語</p> <p>◎漢詩</p> <p>○依頼状やお礼状を書こう【書】</p> <p>○助動詞【言】</p> <p>○他教科で学ぶ漢字(2)【言】</p>	<p>・詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。</p> <p>・筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える。</p> <p>・見聞きしたことや体験したことをもとに、表現を工夫して随筆を書く。</p> <p>・表現の特徴に注意して朗読し、古典の世界に親しむ。</p> <p>・描かれた状況や心情を読み取り、武士の価値観や生き方について考える。</p> <p>・表現の特徴に注意して朗読し、漢詩を味わう。</p> <p>・情景を描いた表現の効果について考える。</p> <p>・読み手を意識して、的確な表現になるように文章を推敲する。</p> <p>・助動詞の働きについて理解する。</p> <p>・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>

11	6、描写を味わう	<p>◎走れメロス【読】</p> <p>○人物を描写しよう【書】</p> <p>○類義語・対義語【言】</p> <p>◎鯉節【読】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物像を捉え、人物の言動について考えながら、作品を読み深める。</li> <li>・場面の展開や表現の効果について考える。</li> <li>・人物像が伝わるように、人物の言葉や行動・態度などを描き出す。</li> <li>・類義語と対義語について理解する。</li> <li>・読書の意義を知り、目的に応じて情報を集め、レポートにまとめる。</li> </ul>
12 1 2 3	7、効果的に表現する	<p>◎「正しい」言葉は信じられるか【読】</p> <p>○質問する・反論する</p> <p>○話し合いで問題を検討しよう</p> <p>○想像を誘うように表現する</p> <p>○いきいきと描き出そう【書】</p> <p>○同音異義語【言】</p> <p>◎わたしが一番きれいだったとき【読】</p> <p>◎坊ちゃん【読】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで、事実の述べ方が読み手に与える印象の違いについて考える。</li> <li>・構成や表現を工夫して、新聞記事を書き換える。</li> <li>・発言や論証を吟味し、質問したり反論したりする。</li> <li>・多様な立場や意見を想定して、テーマについてのメリット・デメリットを出し合う。</li> <li>・お互いの立場や意見を尊重しながら話し合い、結論を出す。</li> <li>・描き方を工夫して、想像を誘う表現をする。</li> <li>・人物や情景をいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。</li> <li>・描写の工夫などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の物語のよい点や改善点を見いだす。</li> <li>・同音異義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> <li>・人物の心情に注意して、詩に込められた思いを考える。</li> <li>・自分の知識や経験と結び付けながら、感想を深める。</li> <li>・文学作品を読み、登場人物の行動や人柄、考え方について考えを深める。</li> </ul>

# 第2学年社会科 学習の手引き

1・2年生は地理と歴史の学習を並行して行い、その基礎の上に3年生で公民を学習するπ型の学習方式を採用しています。

## 1. 社会科(地理・歴史)の授業で目指す学力とは

### ① 地理的分野

- ・地理的事象に興味関心を持ち、自ら課題を発見し、追究・解決しようとする態度。
- ・地理的事象について、様々な調査、諸資料から多面的・多角的に分析、考察、判断できる力。
- ・課題の追究に必要な資料を効果的に活用し、読み・まとめ・発表・説明できる力。
- ・様々な情報をもとに、日本と世界との関係を理解する力、また、それに必要な知識を身につける。

### ② 歴史的分野

- ・歴史的事象に興味関心を持ち、自ら課題を発見し、課題を解決しようとする態度。
- ・歴史的事情について、様々な調査、資料から多面的・多角的に分析・考察、判断できる力。
- ・課題の追究に必要な資料を効果的に活用し、読み・まとめ・発表・説明できる力。
- ・わが国の歴史の大きな流れと各時代の特色を理解する力、また、それに必要な知識を身につける。

2. 評価の観点及びその方法:以下の表に示す各分野3つの観点による観点別学習状況の評価を基本に、目標がどれだけ達成できたかによって評価します。また、一人ひとりの学習課題、進歩の状況なども積極的に評価します。

知識・技能	世界と日本の地域構成、地域の規模に応じた地域的特色、世界と比べてみた日本の地域的特色や日本や世界の歴史の大きな流れと各時代の特色などの知識を身につけている。
思考・判断・表現	地図、統計、新聞や史料など社会に関する様々な資料を収集し、必要な情報を適切に選択し活用するとともに、考察した過程や結果を地図化、レポートなどにまとめることができる。また、発表や討論などを行うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象から課題を見出し、日本や世界の地域的特色や日本や世界の歴史の大まかな流れと、各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。

## 3. 学習内容

月	地理的分野	歴史的分野
4月	身近な地域の調査(5h) ・調査の流れ	15世紀の世界と日本(5h) ・イスラム教の世界とキリスト教の世界 ・つながれてゆく世界 ・ヨーロッパ人の来航と信長 ・秀吉の全国統一と海外政策 ・安土桃山時代の文化
5月	・地図の見方と読み取り方 ・地形図の利用(1) ・地形図の利用(2) ・都道府県と県庁所在地(1年時の復習)	江戸幕府の成立とアジア(4h) ・全国支配のしくみ ・朱印船貿易から鎖国へ ・隣接地域との関係とアイヌ文化の成熟 ・江戸時代の百姓と町人 産業の発達と元禄文化(2h) ・産業の発達と都市 ・江戸時代前期の文化と学問 幕府政治の改革と農村の変化(3h) ・幕府政治の改革
6月	日本の地域的特色(11h) ・山がちな日本の地形 ・川がつくる地形と海岸や海洋の特色 ・日本の気候 ・日本のさまざまな自然災害 ・自然災害に対する備え ・日本の人口 ・日本の資源・エネルギーと電力	・農村の変化と民衆の動き ・江戸時代後期の学問と文化

中間テスト

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の農林水産業</li> <li>・日本の工業とその変化</li> <li>・日本の商業・サービス業</li> <li>・日本の交通網・通信網</li> <li>・さまざまな地域区分</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期末テスト</div>	
7月			<b>欧米の発展とアジアの植民地化(5h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業革命</li> <li>・王政から議会制へ</li> <li>・アメリカの独立とフランス革命</li> <li>・新興勢力の台頭</li> <li>・ヨーロッパのアジア侵略</li> </ul>
9月	<b>九州地方(5h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州地方の自然環境</li> <li>・火山と共にある九州の人々の生活</li> <li>・自然を生かした九州地方の農業</li> <li>・都市や産業の発展と自然環境</li> <li>・南西諸島の自然と人々の生活や産業</li> </ul> <b>中国・四国地方(5h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国・四国地方の自然環境</li> <li>・交通網の整備と人々の生活の変化</li> <li>・瀬戸内海の水運と工業の発展</li> <li>・交通網を活かして発展する農業</li> <li>・人々を呼び寄せる地域の取り組み</li> </ul>		<b>近世から近代へ(3h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆらぐ幕府の支配</li> <li>・開国</li> </ul>
10月	<b>近畿地方(5h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿地方の自然環境</li> <li>・琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏</li> <li>・阪神工業地帯と環境問題への取り組み</li> <li>・古都京都・奈良と歴史的景観の保全</li> <li>・環境に配慮した林業と漁業</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">中間テスト</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸幕府の滅亡</li> <li><b>近代国家へのあゆみ(5h)</b></li> <li>・明治維新</li> <li>・殖産興業と富国強兵</li> <li>・文明開化の発展</li> <li>・近代的な国際関係の形成</li> <li>・領土の確定と隣接地域</li> </ul>
11月	<b>中部地方(5h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部地方の自然環境</li> <li>・中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏</li> <li>・東海で発達する様々な産業</li> <li>・内陸にある中央高地の産業の移り変わり</li> <li>・雪を生かした北陸の産業</li> </ul>		<b>立憲制国家の成立(4h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・士族の反乱と自由民権運動</li> <li>・憲法をめぐる対立</li> <li>・大日本帝国憲法の制定</li> <li>・藩閥政府と民党</li> </ul>
12月		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期末テスト</div>	<b>日清・日露の戦争と東アジアの動き(4h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・列強の動向とアジア</li> <li>・朝鮮をめぐる対立</li> <li>・朝鮮・満州をめぐる日本とロシアの対立</li> </ul> <b>近代の日本の社会と文化(2h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の産業革命</li> <li>・社会運動の発展と近代文化の形成</li> </ul>
1月	<b>関東地方(6h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方の自然環境</li> <li>・多くの人々が集まる首都、東京</li> <li>・東京大都市圏の過密問題とその対策</li> <li>・人口の集中と第3次産業の発達</li> <li>・臨海部から内陸部へ移り行く工場</li> <li>・大都市周辺の農業と山間部の過疎問題</li> </ul> <b>東北地方(5h)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地方の自然環境</li> <li>・伝統行事と生活・文化の変化</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲作と畑作に対する人々の工夫と努力</li> <li>・果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力</li> <li>・工業の発展と人々の生活の変化</li> </ul>	
2・3月	<p>北海道地方(5h)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道地方の自然環境</li> <li>・雪と共にある北海道の人々の生活</li> <li>・厳しい自然環境を克服してきた稲作</li> <li>・自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業</li> <li>・雪国の自然を生かした観光業</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">学年末テスト</div>



# 尾鷲市立尾鷲中学校 第2学年 「数学科」学習のてびき

## 1. 教科の目標

### 【知識および技能】

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

### 【思考力・判断力・表現力】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

### 【学びに向かう力、人間性等】

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

## 2. 評価の観点と内容

	観 点	内 容	評価方法
1	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。</li> <li>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</li> </ul>	定期テスト・ワークシートへの取り組み・授業中の発言・課題への取り組み等
2	思考力・判断力・表現力	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	定期テスト・授業中の発言・ワークシートへの取り組み・授業で説明・論述・レポート作成を行う
3	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	ワークシートへの取り組み方において、自らの学習方法を調整しようとしているか。また、課題に対して粘り強く取り組もうとしているかを授業中に評価していく。

## 3. 学習の方法

○授業を大切にす

- ・授業の準備物を忘れない、忘れたときは、事前に言う。
- ・板書や気づいたことをプリントに記録する。
- ・まずは自分で考えて理解する意識を持つ。
- ・教師や友達の発言をしっかりと聞く。

- ・わからないところは、まわりの友だち・教師に聞く。
- ・わからない問題でもあきらめず、ねばり強く取り組む。また、取り組み方や考え方を変えてみる姿勢も大事にする。

#### ○家庭学習について

- ・授業でやった内容をワーク（数学の問題ノート）で振り返る。プリントを見ながらやるとよい。
- ・毎日コツコツ復習する。
- ・定期テスト前は早めにワークを終わらせ、3回はできるように計画的にやっていく。
- ・提出物は期限を絶対に守る。

### 4. 評価について

- ・あきらめず粘り強く取り組む姿勢を評価する。
- ・自分の考え方や取り組み方を調整しようとしているかを評価する。
- ・ワークシートから到達度を評価する。
- ・観点別テストの実施により評価をする。

### 5. 年間計画

時期		単元名	主な学習内容	どのような力をつけるか（学習目標）
1 学 期	4 月	<b>1章 式の計算</b>	①式の加法、減法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整式の加法・減法の計算をすることができる。</li> <li>・整式の乗法・除法の計算をすることができる。</li> <li>・文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。</li> <li>・文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとすることができる。</li> </ul>
		1節 式の計算	②いろいろな多項式の計算	
		2節 文字式の利用	③単項式の乗法、除法 ④文字式の利用	
	5 月	<b>2章 連立方程式</b>	①連立方程式とその解	
		1節 連立方程式	②連立方程式の解き方	
		2節 連立方程式の利用	①連立方程式の利用	
6 月	<b>3章 一次関数</b>	①一次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二元一次方程式とその解の意味を理解することができる。</li> <li>・連立方程式を解くことができる。</li> <li>・連立方程式を具体的な場面で活用することができる。</li> <li>・連立方程式のよさを実感して粘り強く考え、学んだことをいかそうとすることができる。</li> </ul>	
	1節 一次関数とグラフ	②一次関数の値の変化		

	7月	2節 一次関数と方程式	化 ③一次関数のグラフ ④一次関数の式を求めること  ①方程式とグラフ ②連立方程式とグラフ	あることを理解することができる。 ・一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ・一次関数のよさを実感して粘り強く考え、学んだことを生活や学習にいかそうとすることができる。
	9月	3節 一次関数の利用	①一次関数の利用	
2学期	9月	<b>4章 図形の調べ方</b>		
	10月	1節 平行と合同	①角と平行線 ②多角形の角 ③三角形の合同	・平行線や角の性質を理解することができる。 ・多角形の角についての性質を見いだすことができる。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解することができる。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解することができる。
	11月	2節 証明	①証明とそのしくみ ②証明の進め方	・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認することができる。 ・図形の性質などを証明することのよさを実感して粘り強く考え、学んだことを生活や学習にいかそうとすることができる。
	12月	<b>5章 図形の性質と証明</b>		
		1節 三角形	①二等辺三角形 ②直角三角形の合同	・直角三角形の合同条件について理解することができる。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解することができる。
		2節 四角形	①平行四辺形の性質 ②平行四辺形になるための条件 ③いろいろな四角形 ④平行線と面積	・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。 ・図形の性質などを証明することのよさを実感して粘り強く考え、学んだことを生活や学習にいかそうとすることができる。

			⑤四角形の性質の利 用	
3 学 期		<b>6章 場合の数と 確率</b> 1節 場合の数と確 率  <b>7章 箱ひげ図と データの活用</b> 1節 箱ひげ図	①確率の求め方 ②いろいろな確率 ③確率の利用  ①箱ひげ図 ②データを活用して 問題を解決しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確率を求めることができる。</li> <li>・ 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。</li> <li>・ 場合の数をもとにして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、学んだことを生活や学習にいかそうとすることができる。</li> <li>・ 箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解することができる。</li> <li>・ 箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察することができる。</li> <li>・ 箱ひげ図や四分位範囲のよさを実感して粘り強く考え、学んだことを生活や学習にいかそうとすることができる。</li> </ul>

## 尾鷲市立尾鷲中学校 第2学年 理科シラバス

### 1 教科の目標

自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

### 2 評価の観点と内容

	観 点	内 容	評価方法
理   科	主体的に学習に取り組む態度	自然事象に関心を持ち、主体的に探究することができる。	授業中の態度・発表。レポート・プリントなどの提出・表現。
	思考・判断・表現	自然事象の中に問題を見だし、科学的に思考・判断し、論理的に解決できる。	授業（実験・観察）での科学的表現力、小テスト・定期テストによる評価。
	知識・技能	観察・実験の基本操作を習得し、レポート等に表現できる。	実験・観察についてのレポートによる表現、授業での理解、小テスト・定期テストによる評価。

### 3 学習の方法

- 教科書・資料集の活用（見る、読む、覚える、考える、まとめる）
- 考察レポートの作成
- 問題集（学習整理）の活用
  - ①基本用語・基本概念の習得、学習内容の確認
  - ②家庭での問題集（課題）への取り組み。

### 4 評価について

- ・授業に、協力して、真面目に、意欲的に学習している。
- ・理科の基本用語・概念を十分に習得している。
- ・教科書や資料を活用し、学習事項を適切に表現している。
- ・宿題や課題の期限を守り、提出している。
- ・定期テストで十分な力を発揮している。

第2学年 理科 年間計画

3学期制		学期	配当月	単元	章	生徒観察・実験	どのような力をつけるのか(評価観点)	
1 学期	[生命] 生物の体のつくりと はたらき (34+5)	4月 (11)	単元導入(1), 学ぶ前にトライ! 1章 生物の体をつくるもの(5) 2章 植物の体のつくりとはたらき(9)	観察1 生物の体のつくりの観察【顕】 観察2 植物と動物の細胞のつくり【顕】 実験1 光合成にともなう二酸化炭素の出入り	観察1 生物の体のつくりの観察【顕】 観察2 植物と動物の細胞のつくり【顕】 実験1 光合成にともなう二酸化炭素の出入り	・生物が細胞からできていることを観察を通し理解し、植物、動物の基本的な構造を理解する。 ・消化や呼吸、血液の循環の観察を行い、動物の体が必要な物質を取り入れて運搬し、不要な物質を排出する仕組みを理解できる。 ・動物が外界の刺激に反応している様子を観察し、感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連付けて理解できる。		
		5月 (13)					3章 動物の体のつくりとはたらき(12) 4章 動物の行動のしくみ(6)	観察3 根と茎と葉のつくり【顕】 探Q実験2 唾液のはたらき【ガ】 実験3 刺激を受けとってから、反応するまでの時間
		6月 (16)					力だめし、学んだ後にリトライ! (1) 細胞内のリサイクル機能	
2 学期	[物質] 化学変化と原子・分 子 (30+4)	7月 (8)	単元導入(1), 学ぶ前にトライ! 1章 物質の成り立ち(9) 2章 物質の表し方(4) 3章 さまざまな化学変化(9) 4章 化学変化と物質の質量(6)	実験1 ガスバーナーの操作確認 実験2 炭酸水素ナトリウムを加熱したときの変化【ガ】 実験3 水に電流を流したときの変化【源】 実習1 分子のモデルづくり	実験1 ガスバーナーの操作確認 実験2 炭酸水素ナトリウムを加熱したときの変化【ガ】 実験3 水に電流を流したときの変化【源】 実習1 分子のモデルづくり	・物質を分解する実験を通して、できた物質から、もとの物質の成分が推定できることがわかる。 ・物質は原子や分子からできていることを理解し原子や分子はモデルや記号で表わされることが理解できる。 ・物質を化合させる実験を行い反応前とは異なる物質ができること、化学変化を原子や分子のモデルで説明できること、化学反応式で表わされることを理解できる。 ・化学変化の規則性(質量保存の法則と質量変化の規則性)について理解できる。		
		9月 (15)					力だめし、学んだ後にリトライ! (1) 科学で宝石を生み出す	実験4 鉄と硫黄の混合物を加熱したときの変化【ガ】 実験5 酸化銅から銅をとり出す変化【ガ】 実験6 温度が変化する化学変化 実験7 化学変化の前後の物質全体の質量
		10月 (16)						
3 学期	[エネルギー] 電流とその利用 (33+4)	11月 (16)	単元導入(1), 学ぶ前にトライ! 1章 電流の性質(16) 2章 電流の正体(7) 3章 電流と磁界(8)	実習1 階段の照明の回路 探Q実験1 回路に流れる電流 実験2 回路に加わる電圧 実験3 電圧と電流の関係【源】 実験4 電流による発熱量【源】 実験5 静電気による力【季】 実験6 電流がつくる磁界【源】 実験7 電流が磁界から受ける力【源】 実験8 発電のしくみ	実習1 階段の照明の回路 探Q実験1 回路に流れる電流 実験2 回路に加わる電圧 実験3 電圧と電流の関係【源】 実験4 電流による発熱量【源】 実験5 静電気による力【季】 実験6 電流がつくる磁界【源】 実験7 電流が磁界から受ける力【源】 実験8 発電のしくみ	・回路の性質や、電圧と電流との関係についての規則性を見だし、実験操作や実験結果の処理についての技術を習得することができる。 ・日常生活と結びつけて、静電気の性質から電流の正体を理解できる。 ・日常生活と結びつけて、磁界のついてや電流の磁気作用、電流と磁界の相互作用を理解し直流と交流の違いを理解できる。		
		12月 (10)					力だめし、学んだ後にリトライ! (1) 電力を“伝送”する	
		1月 (12)						
3 学期	[地球] 地球の大気と 天気の変化 (26+4)	2月 (15)	単元導入(1), 学ぶ前にトライ! 1章 地球をとり巻く大気の様子(4) 2章 大気中の水の変化(6) 3章 天気の変化と大気の動き(5) 4章 大気の動きと日本の四季(9)	観測1 気象要素の観測【季】 実験1 空気の体積変化と雲のでき方 実験2 空気の湿度気量の推定 実習1 日本付近における低気圧や高気圧の動きと天気の変化【季】 探Q実習2 明日の天気を予想する	観測1 気象要素の観測【季】 実験1 空気の体積変化と雲のでき方 実験2 空気の湿度気量の推定 実習1 日本付近における低気圧や高気圧の動きと天気の変化【季】 探Q実習2 明日の天気を予想する	・水が状態を変化させ大気中を循環していることがわかり、空気中の水の変化を理解できる。 ・大気の動きと気象の関係について理解し、気圧と風の関係、低気圧、高気圧について理解できる。 ・寒気、暖気、前線について、モデルを通して理解することができ、低気圧・高気圧の動く様子から天気の前測ができることがわかる。 ・日本付近の大気の動きを地球規模の大気の動きとして捉え日本の四季の天気の特徴としくみを理解できる。		
		3月 (8)					力だめし、学んだ後にリトライ! (1) 海洋と日本の天気の関係	
		(140)					年間配当時数 123時間+予備17時間	

※( )内の数字は、それぞれの配当月、単元、章での時数を示しています。+で示した数字は、予備時間です。

※【季】は季節的な影響を受ける観察・実験を示しています。

※【顕】は顕微鏡を使用する観察・実験、【ガ】はガスバーナーを使用する観察・実験、【源】は電源装置を使用する実験を示しています。

## 令和5年度音楽学習のすすめかた（第2学年）

尾鷲市立尾鷲中学校

### ☆音楽の学習で“めざす”こと☆

- 音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする。  
曲想に関心を持ち、楽曲の豊かさや美しさを感じ取る
- 音楽に親しみ、音楽の持つ曲想や美しさを感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の工夫をする。  
リズム・旋律・和音を含む音と音との関わり合い、形成などを感じ取る
- 歌唱を通して、表現する能力を高める。  
読譜力などの基本的な技術を身につけ、音楽表現をする
- わが国および世界の諸民族の音楽の特徴を感じ取る。  
多様な音楽に興味・関心を持ちながら幅広く鑑賞する

### ☆学習を進めるにあたって☆

使用 教材	教科書            中学校の音楽 2・3上（教育芸術社） 中学校の器楽                   （教育芸術社）	も ち も の	・教科書 ・ファイル ・ワーク
学 習 の 進 め 方	《確かな学力を身につけるには》 ○ 学習課題をしっかりととらえ、課題に対して前向きに取り組む。 ○ わからないところやできないところを明確にして、克服する。 ○ 繰り返し練習し、精一杯の努力・工夫をする。 ○ 良いところを伸ばし、苦手とすることにも挑戦する。 ○ 努力したのち、自分の成長したことに自信を持つ。 ○ 音楽を個性豊かに表現することと、集団の中で高め合うことの喜びを感じ取る。  《実技テストや定期テストに備えて》 ○ 範囲はテスト発表時に通知する。 ○ 歌唱の実技テストは、日々の努力が大切。		
学 習 上 の 注 意 等	○ チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席して待つ。 ○ 授業の準備物を忘れない。 ○ 音楽記号や発想記号などをきちんと覚え、表現力を豊かにする。 ○ 歌唱活動は状況を見て行うこととし、歌える時は積極的に声を出して歌う。 ○ 合唱練習時は友達の努力を認め、ともに向上しようという心構えを持つ。 ○ 鑑賞の学習はよく見聞きし、レポートやプリント学習に丁寧に取り組む。		

☆学習内容および評価について☆

学習計画			評価にあたって		
学期	月	単元計画	評価観点		評価の場面・方法
1 学期	4	オリエンテーション	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ (技) 曲想や美しさをより感じ取ろうとすることができたか。</li> <li>○ (技) 創造的に表現するために技能を伸ばし、高めることができたか。</li> <li>○ (知) 我が国の音楽や世界の音楽の特徴を、文化・歴史などを背景として総合的に理解して聴くことができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱</li> <li>・実技テスト</li> <li>・定期テスト</li> <li>・DVD鑑賞とまとめ</li> </ul>
	5	・「夏の贈り物」「夏の思い出」			
	6	・幼児向けの歌を作ろう(作曲)			
		・ボディパーカッション			
		・鑑賞 「フーガト短調」			
	7	・ボディパーカッション実技テスト			
		・クラス合唱の選曲			
		・合唱コンクールの取組			
2 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱コンクールの取り組み</li> <li>・歌唱 実技テスト</li> <li>・鑑賞「交響曲第5番ハ短調」</li> </ul>	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感じ取ったよさを生かした表現ができたか。</li> <li>○ 感じ取った美しさ、豊かさを表現するための工夫ができたか。</li> <li>○ 読譜や曲想を自分のイメージで表現するための努力ができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱</li> <li>・合唱</li> <li>・器楽</li> <li>・鑑賞</li> <li>・実技テスト</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
	10.				
	11.				
	12.				
3 学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞 「アイーダ」</li> <li>・荒城の月</li> <li>・卒業式 式歌</li> <li>・実技テスト</li> <li>・</li> </ul>	主体的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲や関心を持って楽しんで授業に取り組むことができたか。</li> <li>○新たな課題を見い出そうとしたか。</li> <li>○課題に対して、どれだけ克服しようとしたか。</li> <li>○積極的に学習しようとしたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・歌唱・合唱の様子</li> <li>・条件どおりに創作ができているか。</li> <li>・授業中の発言、発表の様子</li> <li>・レポート</li> <li>・プリントの点検・歌唱</li> </ul>
	2				
	3				



## 尾鷲市立尾鷲中学校 令和5年度 美術科シラバス

### 学習目標

観察、造形活動に取り組む姿勢を育てる。多様な個性や表現への理解。鑑賞の視野を広げ創造的な「生きる力」を育てる。

### 学習内容

1年生 レタリング、ポスター、平面構成、木彫

2年生 ポスター、パズル、木彫、鉛筆デッサン

3年生 素描と自画像、タッチステンド、篆刻

夏休み課題、テーマを選んだのポスター制作。(希望者のみ)

### 評価 観点

- ・美術に関心を持ち、意欲的に取り組み、提出物の期限を守る。
- ・表現力があり創造性に富んでいる。
- ・基礎的な技法や技術を身につけ技能的に優れている。
- ・美術を愛し進んで鑑賞している。

### 方法

制作の過程の提出物。作品の評価。忘れ物状況。授業態度。鑑賞プリント。感想文

### その他

美術では1つの作品を完成させるまでの提出物が多いので提出期日を守らせる。多人数で作業するので安全面に気をつけさせる。準備物、後かたづけをしっかりとらせる。

### 3年間の学習計画

学 年	学 習 内 容	授業時間
1	・レタリング ・ポスター ・平面構成 ・木彫 ・鉛筆デッサン	4 5 時間
2	・ポスター ・透視図法 ・パズル ・木彫 ・鉛筆デッサン	3 5 時間
3	・自画像 (鉛筆デッサン) ・タッチステンド ・篆刻	3 5 時間

## 美術 1 年シラバス

月	学習活動	月	学習活動
4	オリエンテーション	8	夏休み課題ポスター案内
5	レタリング 基本の明朝体を学習し	9	平面構成 美の秩序と構成を学び、美
6	正確にかけるようにする。明朝体	10	しい形や模様をデザインする。
	を使って、自分のネームプレート	11	(文化祭で展示)
	を制作する。	12	鉛筆デッサン 面で絵を描く。
7	ポスター制作 アイデアを考え、	1	木彫 木の材質を理解しながら、彫刻
	構成し、ポスター制作の手順や着	2	に親しみ制作する。
	彩の仕方を学習する。	3	(2年の文化祭で展示)

## 美術 2 年シラバス

月	学習活動	月	学習活動
4	ポスター制作 歯のポスターに取り	8	夏休み課題ポスター案内
	組みコンクールに参加する。	9	パズル制作 おもちゃのデザインに
		10	取り組み、工夫をこらしたパズル作り
		11	に挑戦する。
7	透視図法 透視図法について学び	12	木彫 木の材質を理解し、高度な彫り
	その図法を活用し平面作品を作成	1	方に挑戦し作品を制作する。
	する。	2	鉛筆デッサン 鉛筆の材質をいかし、
		3	濃淡で、陰影を使って立体表現する。

## 美術 3 年シラバス

月	学習活動	月	学習活動
4	素描と自画像 模写等で習得した	9	タッチステンド 色彩や形を考え、自
	技法を使い、15歳の自分の顔を	10	分の思いや夢を取り入れデザインし、
	鉛筆で陰影をもとに立体表現する	11	作品制作する。(文化祭で展示)
	。	12	
7	(文化祭で展示)	1	篆刻
		2	自分の名前を使って印鑑のデザインを
		3	し、篆刻をする。

## 学習のすすめかた(第2学年 保健体育科)

### ☆ 保健体育の学習で“めざす”こと ☆

保健体育の学習は、「保健分野」と「体育分野」に分けられます。

#### 【保健分野】

体や心の成長・発育やケガや病気の予防、健康と環境などについて学びます。

#### 【体育分野】

いろいろなスポーツを体験し、それぞれのスポーツに必要な体力や技術を身につけさまざまな知識を学びながら健康な心身をつくることを目指していきます。

保健体育科では、「健康な心身づくり」をテーマとし、これからの生涯を主体的に健康に生きていくために、以下の4つの観点を大切にしながら授業を進めていきたいと思えます。

- ① 積極的に運動に取り組み、健康な体づくりに努めるとともに、仲間と一緒にスポーツを楽しめるような体力と技術を身につける。
- ② 健康やスポーツに対する関心を高め、自ら学習していく態度や仲間と共に学習していく態度を養う。
- ③ 個人やチームで効果的な練習方法を工夫したり、ゲームでいかす作戦を考えたりするなど、運動や健康・安全に関する思考力・判断力を身につける。
- ④ 健康や安全に関して必要な知識・理解、仲間とともにスポーツに親しんでいくための知識・理解を深める。

教材	<p>&lt;教科書&gt; 保健・・・新 保健体育(学研) 体育・・・中学体育実技 (学研)</p>	持ち物	<p>教科書、筆記用具 プリント用ファイル 体育館シューズ(運動靴) 必要に応じて水筒、タオル</p>
学習の進めかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分やチームの目標や課題を持って積極的に授業に取り組む。</li> <li>○ グループやチームで協力したり、教えあったりすることを大切にする。</li> <li>○ ルールや試合方法について理解し、積極的に取り組む。</li> <li>○ グループやチームでどうすれば体力や技術が向上するか考えながら練習やゲームに取り組む。</li> <li>○ 教師の話や仲間のアドバイスをしっかり聞いて理解する。</li> <li>○ 保健では資料や知識を基にして意欲的な態度でいろいろな問題や課題に取り組む。</li> <li>○ スポーツ・健康に関する出来事に興味を持ち、ニュースや新聞などにも目を通す。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業中での話をしっかり聞き、いろいろなスポーツのルールや技術のポイント、また、健康・安全に関する知識について、教科書を参考にしながら復習する。</li> <li>○ 授業中に配布したプリント(ワークシート)にも目を通す。</li> </ul>		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ チャイムが鳴る前に、指定の隊形で整列する。</li> <li>○ さらに必要な所は念入りにストレッチングをする。</li> <li>○ 試合に必要な道具やコート準備・片付けは全員、もしくは保健体育係で行う。</li> <li>○ 教師の説明を聞き、授業の流れやポイントを把握する。</li> <li>○ 保健の授業では、学習したことをプリント(ワークシート)にまとめ、整理する。</li> <li>○ 授業の規律やルールを守るとともに、安全に十分配慮して、取り組む。</li> <li>○ ケガや体調がすぐれない場合は、見学などできる範囲で授業に参加する。</li> </ul>		

## ☆ 学習内容および評価について ☆ (第2学年 保健体育科)

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て	
学期	月	実 技	講 義	評 価 観 点	評 価 の 場 面 ・ 方 法
一 学 期	4	オリエンテーション 体づくり運動・体力テスト 集団行動 現代的なリズムのダンス 陸上競技(短距離走・リレー)  球技(バレーボール)  水泳  【期末テスト】	体育理論(スポーツの効果と安全)  保健(健康と環境・健康な生活と病気の予防)	知識・技能  ○ 各種目の運動に必要な基本的な技術を身につけているか。 ○ 身につけた技術を試合や記録会の中でいかしているか。 ○ 個人やチームで設定した目標や記録を達成することができたか。 ○ 運動や健康・安全に関する知識を習得し、授業の場で活かすことができたか。	○ 行動観察 ○ プリント ○ テスト ○ 実技
	5				
	6				
	7				
	9				
二 学 期	9	ダンス(創作ダンス)  【体育祭】	思考・判断・表現  保健(健康と環境・健康な生活と病気の予防)	○ 個人やチームで適切な課題や目標を持って練習や試合に取り組めたか。 ○ 個人やチームで適切な作戦を立てたり、技術を高める練習方法を考えて実践したりすることができたか。 ○ 安全に対する配慮を主体的に行い、運動に参加しているか。健康・安全に関する知識や情報を自分たちの問題として捉え、考えられているか。 ○ 自身や他の課題、練習の目的を考え伝えられる	○ 行動観察 ○ プリント ○ テスト
	10	陸上競技(走り高跳び) 球技(ソフトボール)			
	11	マット運動 陸上競技(長距離走)			
	12	【期末テスト】  【持久走大会】			
三 学 期	1	武道(剣道)  球技(サッカー)  球技(バスケットボール)  【学年末テスト】	主体的に学習に取り組む態度	○ 意欲的な態度で運動にとりくむことができたか。 ○ 自身の課題に対して考え上達するよう工夫できたか。 ○ 授業の中でのルールや規律を守ることができたか。 ○ 準備や片づけに積極的に取り組めたか。 ○ 仲間と協力したり、教えあったりしながら運動に取り組むことができたか。 ○ 保健学習のワークシートに対して意欲的に取り組めたか。 ○ スポーツや健康・安全について興味・関心を持ち、ニュースや新聞等などにも目を通して	○ 行動観察 ○ プリント ○ テスト
	2				
	3				

## 自分を表現し、発信しよう！（第2学年 技術）

### ☆技術の学習で“めざす”こと☆

◎ 作品を製作したり、コンピュータを活用したりすることによって、生活に必要な基礎的な「知識」・「技術」を習得し、活用しよう。また、自分なりに「技術」を評価し、社会や環境とのかかわりについて考え、実践していこう。

#### A「ワード」

- ・情報の進化に触れる。
- ・身のまわりの情報機器を活用しネットモラルを考える。
- ・文書作成ソフトを活用し、情報をまとめる。

#### C「生物育成に関する技術」

- ・生物の育成環境を知ろう。
- ・生物の育成計画を立て、栽培をしよう。

#### D「情報に関する技術」

- ・コンピュータの基本的な機能を知り操作ができるようになろう。
- ・コンピュータでよく使われる応用ソフトウェアが使えるようになろう。
- ・情報化が社会や生活に及ぼす影響や、コンピュータの役割を考えよう。

### ☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書「新しい技術・家庭（技術分野）」 東書	持ち物	教科書・ワーク
学習のすすめかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題をしっかりとらえ、頭と体と心をしっかり使う。</li> <li>○わからないところ、できないところを明確にして、学習・製作をする。</li> <li>○何事も、自分にできる精一杯の工夫をする。</li> <li>○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦する。</li> <li>○できるようになったこと。自分の成長したことに自信を持つ。</li> <li>○作品づくりにおいては、ていねいに製作に取り組む。</li> </ul> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭での仕事を積極的に手伝い、生活の知恵を学ぼう。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○範囲は、テスト発表時に通知する。</li> <li>○授業中に学習したことをしっかり復習しておく。</li> <li>○テスト勉強を進めるために必要なプリントを保存しておく。</li> </ul>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パソコン室や木工室等で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動をする。</li> <li>○製作においては、目的と方法を理解し、工夫して、ていねいに製作に取り組む。</li> <li>○製作においては、ケガをしないように、十分注意する。</li> <li>○完成したすべての作品をていねいに、また大切に扱う。</li> <li>○パソコン機器をていねいに扱う。</li> <li>○木工室の機械・工具を安全に使う。</li> </ul>		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画				評価にあたって				
期	月	単 元 計 画	識 別	評 価 観 点	評価の場面・方法			
一 学 期	4	<b>オリエンテーション A「ワード」</b>  1 文書作成ソフトを利用し、情報をまとめる。 2 情報の進化に触れる 3 身のまわりの情報機器を活用し、情報モラルを考える。	期 末	<b>知識・技能</b> ○技術の役割を理解し、ものづくりやコンピュータ等に必要な知識を身につけている ・情報社会のなりたちやコンピュータの基本的なしくみについて理解している ・各種アプリケーションソフトを理解している ・生物育成についての基本的なことを理解している  ○ものづくりやコンピュータの基礎的な技術を身に付け、安全で適切に活用できる ・コンピュータの基本操作ができる ・各種アプリケーションソフトの操作ができる	・作業の様子 ・定期テスト ・授業プリント  ・実習の取り組み ・作品の提出 ・定期テスト ・授業プリント			
	5							
	6							
7								
9	<b>D「情報に関する技術」</b> 1 コンピュータの使い方を身に付けよう 実習 「エクセル」の活用					期 末	<b>思考・判断・表現</b> ○生活と技術について課題解決のために、技術を適切に活用、工夫し創造する。 ・パソコンなどの情報機器を積極的に活用し利用しようとしている。 ・各種アプリケーションソフトの機能を活用し、活かそうとしている。	・授業中の発言 ・作業の様子 ・自己評価 ・作品 ・定期テスト ・授業プリント
10								
11								
二 学 期	12	<b>C「生物育成に関する技術」</b> ○生物を育てる技術の特徴 1 人・生物・環境のかかりについてしろう 2 植物を育てる技術を知ろう	期 末	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・粘り強く授業に参加し、学習を調整しようすることができる ・ものづくりやコンピュータについて関心を持ち、知識と技術を進んで活用しようとする ・情報社会やコンピュータに興味を持ち、適切に進んで利用しようとする。 ・授業に積極的に取り組み、発言等も積極的である。 ・プリント等を適切にとり学習に取り組んでいる。	・授業中の態度 ・作業の様子 ・授業中の発言 ・自己評価 ・提出物、忘れ物 ・作品の提出			
1								
2								
三 学 期	3							

## 自立と共生をめざして！！(第2学年家庭)

### ☆家庭の学習で“めざす”こと☆

◎衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

#### A「家族・家庭と子どもの成長」

- 幼児の発達を知り、家族の役割や地域とのかかわりを考えよう。
- 家庭や家族の基礎的な機能について理解し家族関係をよりよくする方法を考えよう。

#### B「食生活と自立」

- 生活の中で食事が果たす役割や健康と食事のかかわりについて考えよう。
- 日常食の調理に関心をもち、いろいろな食品や調理用具を適切に扱い、簡単な日常食の調理ができるようになろう。

#### C「衣生活・住生活と自立」

- 目的に応じた着用や個性を生かす着用が工夫できるようになろう。
- 衣服材料に応じた日常着の製作や適切な手入れができるようになろう。
- 安全で快適な室内環境の整えかたを知り、よりよい住まい方の工夫ができるようになろう。
- 災害に備えた住まいの安全対策を考えよう。

#### D「身近な消費生活と環境」

- 販売方法の特徴や消費者保護について知り生活に必要な物資・サービスの適切な選択・購入および活用ができるようになろう。
- 自分の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活が工夫できるようになろう。

### ☆学習を進めるにあたって☆

使用教材	教科書・・・技術・家庭(家庭分野)(東京書籍) ワーク・・・自立と共生を目指して(東京書籍)	もちもの	教科書 ワーク ファイル
学習の進めかた	<p>《確かな学力を身につけるには》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まずは、学習課題をしっかりとらえ、頭と体と心をしっかり使う。</li> <li>○わからないところ、できないところを明確にして、学習・実習をする。</li> <li>○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をする。</li> <li>○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦する。</li> <li>○できるようになったこと、自分の成長したことに自信を持つ。</li> <li>○作品づくり及び調理実習においては、安全面に気をつけて、積極的に取り組む。</li> <li>○習ったことを生活に取り入れ、生かしていくようにする。</li> </ul> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭で、“衣食住・家族”にかかわる仕事を手伝うこと。</li> <li>※特に夏休み等の長期の休みに、家庭生活にかかわる内容について調べたり、家族の一員として仕事をやってみたりしよう。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○範囲は、テスト発表時に通知する。</li> <li>○授業中に学習したことをしっかり復習しておく。</li> </ul>		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中は、けじめをつけよう。</li> <li>○忘れ物がないように注意しよう。</li> <li>○調理室や被服室で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動をする。</li> <li>○実習においては、目的と方法を理解し工夫して、取り組む。</li> <li>○実習においては、ケガをしないように十分注意する。</li> <li>○班員で仕事を分担し、能率よく協力して作業を行うこと。</li> </ul>		

☆学習内容および評価について☆

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	議 論	評 価 観 点	評価の場面・方法	
一 学期	4	オリエンテーション	期 末	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衣服の材料や状態などに応じた日常着の手入れに関心を持ち、選択や補修の課題に取り組もうとしている。</li> <li>○衣服と社会生活とのかかわりについて関心を持ち、時・場所・場合に合った衣服を着用しようとしている。</li> <li>○自分や家族の住空間とのかかわりについて関心をもって学習活動に取り組んでいる。</li> <li>○安全で快適な室内環境に関心を持ち、整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>ワーク記入状況</li> <li>持ち物</li> <li>定期テスト</li> </ul>
	5	・私たちの衣生活				
	6	・衣服選択と手入れ				
		・私らしさとT・P・O				
		・日本の衣文化				
		・生活を豊かにするために				
	7	・作って楽しい布作品				
二 学期	9	・衣服の手入れ (実習)	期 末	思 考  ・ 判 断  ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、ている</li> <li>○目的に応じた衣服の適切な選択について考え発表できる。</li> <li>○衣服の材料や状態に応じた選択や補修について考え、工夫している。</li> <li>○室内環境について課題を見つけ、調査・観察・実験などを通して、安全で快適な整え方や住まい方について考え、工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>プリント記入状況</li> <li>ファイル提出</li> <li>定期テスト</li> </ul>
	10	・私たちの住生活				
	11	・住まいと気候風土の関わり				
	12	・災害への対策				
		・健康で快適な室内環境				
三 学期	1	・持続可能な住生活を 目指して	学 年 末	技 能  知 識	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既製服を選択を理解し収集し、整理することができる。</li> <li>○衣服の材料や汚れ方に合った方法で日常着の手入れや補修ができる。</li> <li>○調理の基礎技能</li> <li>○衣服の社会生活上の機能について理解している。</li> <li>○衣服の計画的な活用の必要性を理解しているか。</li> <li>○既製服の表示と選択にあたっての留意事項について理解している。</li> <li>○補修の目的と布地に適した方法について理解している。</li> <li>○住居に基本的な機能について理解している。</li> <li>○健康で快適な室内環境の整え方と住まいについて理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習観察</li> <li>プリント記入状況</li> <li>ワーク記入状況</li> <li>定期テスト</li> </ul>
	2					
	3	・調理の基礎技能 ・学習のまとめ				



# 尾鷲市立尾鷲中学校 第2学年英語科の学習の手引き

## 1. 学習の目標

- ① 英語学習に慣れ、意欲的に学習に取り組むことができる。
- ② 学習した内容を使って身近な事柄を表現することができる。
- ③ まとまった英語を聞いて（読んで）、必要なことを理解することができる。
- ④ 英語という言葉に興味を持ち、その使い方を理解し、運用することができる。また、英語学習を通してその背景にある文化を理解し、自国の文化と比較して考えることができる。

## 2. 評価の観点・方法

評価の観点・方法	内容	評価方法
知識・技能・	[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	定期テスト・ワークシートへの取り組み・授業中の発言・課題への取り組み、パフォーマンステストの内容等
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	定期テスト・授業中の発言・ワークシートへの取り組み・パフォーマンステストへの取り組み等
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を使おうとしている。	ワークシートへの取り組み方において、自らの学習方法を調整しようとしているか。 また、課題に対して粘り強く取り組もうとしているかを授業中に評価を行う。

## 3. 学習の方法

- 予習をする。
  - ・新出単語を確認しておく。
  - ・本文の内容を読んでおく。
- 授業を大切にす。
  - ・指導者の話（英語での説明）をしっかり聞く。
  - ・音読はしっかり声を出して発音し、コミュニケーション活動には積極的に参加する。
- 復習をする。
  - ・ワークブックや配布プリントなどを利用して、新出構文をしっかり復習をする。
  - ・新しい単語の読み・書きの練習をする。

#### 4. 評価について

- ・提出物は期限内に提出する。
- ・あきらめず粘り強く取り組む姿勢を評価する。
- ・観点別のテストの実施による評価をする。

#### 5. 年間計画

学期	月	単元・題材	主な学習内容	観点別評価具体例			
1 学 期	4	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での約束（規律ある態度、約束やきまりを守る）</li> <li>・接続詞 when、if、that 使った表現</li> </ul>	授業での約束を守って学習に取り組むことができる。  【知識】接続詞 when、if、that の意味や働きを理解している。  【技能】接続詞 when、if、that などを活用して、その日の天気にあわせて必要なものについて話された英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。			
		Starter This Month's Books Lesson 1 Peter Rabbit USE Read USE Speak					
		5			Take Action! Listen 1 図書館の案内 Take Action! Talk 1 どんなストーリーなの？  GET Plus 1 試着してもいいですか ◎May I ...?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ May I ...? 使った表現</li> </ul>	May I ...? の意味や働きを理解している。
					文法のまとめ 1  Lesson 2 My Dream GET Part 1 GET Part 2 USE Read		
	6	Project 1 将来の夢を紹介しよう Take Action! Listen 2 Take Action! Talk 2 GET Plus 2 文法のまとめ 2 Reading for Information 1 施設の利用案内	It is ... (for A) to ~. を使った表現	【知識】 It is ... (for A) to ~. の意味や働きを理解している。			

		<p>Lesson 3</p> <p>Every Drop Counts</p> <p>GET Part 1</p>	<p>There is [are]... を使った表現</p>	<p>【知識】</p> <p>There is [are]... を用いた文の構造を理解している。</p> <p>【技能】</p> <p>There is [are]... の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p>
	7	<p>GET Part 2</p> <p>USE Read</p> <p>USE Speak (p. 46, 47)</p>	<p>動名詞を使った表現</p>	<p>【知識】</p> <p>動名詞の意味や働きを理解している。</p>
		<p>GET Plus 3</p> <p>文法のまとめ 3</p>	<p>must... や must not... を使った表現</p>	<p>【技能】</p> <p>ある場所のルールについて、must... や must not... などを用いて、禁止事項を即興で伝え合う技能を身に付けている。</p>
2 学 期	9	<p>Lesson 4 Uluru</p> <p>GET Part 1</p> <p>GET Part 2</p> <p>USE Read</p> <p>USE Write</p> <p>Take Action! Listen 3</p> <p>Take Action! Talk 3</p>	<p>・動詞 (give, call, make など) +A+B)</p> <p>を使った表現</p>	<p>【知識】</p> <p>動詞 (give, call, make など) +A+B) の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】</p> <p>動詞 (give, call, make など) +A+B)などを活用して、友だちに贈るものについて話された英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p>
	10	<p>GET Plus 4</p> <p>文法のまとめ 4</p>	<p>have to ... や don' t have to ...</p> <p>を使った表現</p>	<p>【知識】</p> <p>have to ... や don' t have to ... の意味や働きを理解している。</p> <p>【技能】</p> <p>ある場面について、have to ... や don' t have to ... などを用いて、しなければならないことを即興で伝え合う技能を身に付けている。</p>
	11	<p>Reading for Information 2</p> <p>Reading for Fun 1</p> <p>Lesson 5</p> <p>Things to Do in Japan</p> <p>GET Part 1</p> <p>GET Part 2</p> <p>USE Read</p> <p>USE Write</p>	<p>・形容詞の比較級 (-er/-est) を使った表現</p> <p>・形容詞の比較級 (more/most) を使った表現</p>	<p>【知識】</p> <p>形容詞の比較級 (-er/-est) を用いた文の構造を理解している。</p> <p>【技能】</p> <p>形容詞の比較級 (-er/-est)などを活用して、都市の面積について話された英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p>

3 学 期	12	Take Action! Listen 4 Take Action! Talk 4	遊園地のできることを知るために、 遊園地のイベント情報について話さ れた英文を聞いて、要点を捉える。	【知識】 「誘う」「誘いに応じる・誘いを断る」表現の意味や働き を理解している。  【技能】 自分の予定について、事実や自分の考え、気持ちを整理 し、「誘う」「誘いに応じる・誘いを断る」表現などを用い て伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に つけている。
		GET Plus 5 文法のまとめ 5 Reading for Information 3 Project 2	疑問詞 (how など) + to ... を使っ た表現	【知識】 疑問詞 (how など) + to ... の意味や働きを理解している。
		1	Lesson 6 Tea from China GET Part 1 GET Part 2 USE Read USE Write	現在完了形 (継続用法) を使った表現
	2	GET Plus 6 Reading for Information 4	Could you ...? を使った表現	【知識】 現在完了形 (完了、経験用法) の肯定文・疑問文・否定文の 特徴やきまりに関する事項を理解している。  【技能】 現在完了形 (完了、経験用法) の肯定文・疑問文・否定文な どを活用して、経験したことがあることについて話された 英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。
		Lesson 7 Rakugo Goes Overseas GET Part 1 GET Part 2 USE Read USE Write	・現在完了形 (完了、経験用法) を使 った表 現	
		1	Take Action! Listen 6 Take Action! Talk 6 文法のまとめ 6 Project 3 Reading for Fun 2	
	3	Take Action! Listen 6 Take Action! Talk 6 文法のまとめ 6 Project 3 Reading for Fun 2	退院のお祝いに何を渡すか検討する ために、2つのプレゼントの候補につ いて話された英文を聞いて、要点を 捉える。  物語のおおまかな流れなどを理解す るために、星の王子さまの旅につい て書かれた物語を読んで、概要を捉 える。	【思考・判断・表現】 退院のお祝いに何を渡すか検討するために、2つのプレ ゼントの候補について話された英文を聞いて、要点を捉 えている。  物語のおおまかな流れなどを理解するために、星の王子さ まの旅について書かれた物語を読んで、概要を捉えている。  【主体的に学習に取り組む態度】 退院のお祝いに何を渡すか検討するために、2つのプレ ゼントの候補について話された英文を聞いて、要点を捉 えようとしている。  物語のおおまかな流れなどを理解するために、星の王子さ まの旅について書かれた物語を読んで、概要を捉えようと している。

